

1 実践の概要

タイトル	地域との合同避難訓練（由利工業高等学校）
概要	<p>地震発生後、津波警報が発令され、由利工業高校が地域の一時避難場所になること想定した避難訓練を実施</p> <p>期日：平成26年9月30日（火）</p> <p>場所：由利工業高等学校校舎等</p> <p>時間帯：授業時間（9:30～10:30）</p> <p>参加者：全校生徒380名・教職員44名、地域住民25名 保育所園児163名（2才35名、3才45名、4才37名、5才46名）・保育園職員15名</p>

2 実践内容

実践方法と進め方	工夫した点○ 苦勞した点●
<p>1 事前打ち合わせ</p> <p>1 回目（7月25日） 秋田県教育庁保健体育課、由利本荘市総務部危機管理課、町内防災担当者、石脇西保育園長、本校担当職員</p> <p>2 回目（9月12日） 由利本荘市総務部危機管理課、町内防災担当者、石脇西保育園長、本校担当職員</p> <p>3 回目（9月26日） 本校職員のみ</p> <p>2 防災訓練当日（9月30日）</p> <p>(1)地震発生 (2)津波警報発令 (3)避難行動開始、一次避難所機能の立上げ</p> <p>3 事後の反省会 訓練終了後に実施 秋田県教育庁保健体育課、由利本荘市総務部危機管理課、秋田地方気象台、日本赤十字社秋田支部、町内防災担当者、石脇西保育園長、本校担当職員（校長、教頭、事務長、防災担当者）</p>	<p>●避難所内の状況や災害に関する情報を以下にして避難住民に伝えるか。</p> <p>○要介護者の階上への搬送訓練を、日本赤十字秋田支部の担当者の指導の下で行った。</p> <p>○地震発生時、臨場感を出すため、気象庁提供の音源（地震発生時の音）を使用した。</p> <p>○停電を想定し、担当職員間の連絡はトランシーバ（無線）を活用。交信の音声は避難住民にも聞けるようにした。</p> <p>○園児の避難誘導では、生徒2人が2才児の両手を結んで誘導した。</p> <p>○園児用の緊急避難物資を本校校舎内に常置している。</p> <p>●訓練実施中、担当生徒への説明</p>

協力・連携先の分類	団体名・組織名	協力・連携の内容
学校・教育関係・同窓会等	秋田県教育庁保健体育課 石脇西保育園	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練事前打ち合わせ ・（訓練当日）学校までの誘導・点呼（保育園） ・（訓練当日）訓練状況の視察（保健体育課） ・訓練事後の打ち合わせ

保護者・PTA関係	なし	
地域組織	<ul style="list-style-type: none"> ・赤ハゲ町内会 ・若葉町内会 ・松濤町内会 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練事前打ち合わせ ・訓練当日（誘導補助、住民リスト作成、要支援者の階上への搬送訓練参加） ・訓練事後の打ち合わせ
国・地方公共団体・公共施設	<ul style="list-style-type: none"> ・由利本荘市総務部危機管理課 ・秋田地方気象台 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練事前打ち合わせ ・（訓練当日）地震発生時の効果音放送（気象台） ・（訓練当日）訓練状況の視察 ・訓練事後打ち合わせ
企業・産業関係の組合等	<ul style="list-style-type: none"> ・日本赤十字社秋田支部 	<ul style="list-style-type: none"> ・（訓練当日）要支援者の階上への搬送訓練指導 ・（訓練当日）訓練状況の視察 ・訓練事後打ち合わせ

3 成果と課題

成 果	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒の防災意識が高められたとともに、園児避難の支援や避難所立上げの役割を果たすことで、「共助」の大切さを学ぶことができた。 2 検討すべき点が明確になった。 <ol style="list-style-type: none"> ①災害発生時、本校職員は生徒の安全確保が最優先であり、地域住民への対応が不十分になりがちである。 ②生徒にとって毎年自分の役割が変わるので、新年度に訓練の成果（経験）が活かされない。 ③生徒に協力願う役割について説明する十分な時間が確保できていない。 ④本部担当職員が固定化された訓練内容では、災害発生時、校内にいる職員だけでの対応を困難にしている可能性がある。
課 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 災害発生時、地域（近隣の町内）が自主的に行なっていただく行動や協力について 2 年度が進行しても成果（経験）が活かされる計画の検討 3 生徒に対する訓練の意義や担当する役割を事前に説明する時間の確保 4 災害発生時、校内にいる職員が適切に行動できるマニュアルの検討 5 一時避難所に必要な毛布、水、電源の確保 6 夜間や休日に災害が発生した場合、避難してくる住民への対応
今後の継続予定	<ol style="list-style-type: none"> 1 本年度の訓練で明確になった検討すべき点を可能な限り解決しながら、次年度も実施したい。 2 事前打合せは例年通り行ない、特に地域住民の避難について、住民で何ができるのか検討いただき、訓練に反映にさせたい。 3 消防、警察、市などの公共機関への通報訓練を訓練内容に盛り込みたい。



地震発生時



石脇西保育園から本校へ避難



生徒が園児を階上の部屋へ誘導



園児避難所（教室）



要支援者の階上搬送訓練の様子



地域住民の避難所